静岡新聞

1年	高尾山（辻畑）古墳について調べよう
社会	

年　　組　　番　名前

☆高尾山（辻畑）古墳はどこで発掘されたか地図を書いてみよう。

地図

☆古墳では西暦230年ごろに作られたとみられる高坏（たかつき）が発見された。高坏とは何か調べて、絵を描いてみよう。

絵

☆西暦230～250年ごろの日本、中国、世界についてまとめよう。

日　本	
中　国	
世　界	

☆ほかの副葬品や棺についても調べてみよう。

☆この古墳は前方後方墳とあるが、どのようなものか調べて、絵を描いてみよう。

絵

☆この古墳は、これからどうなるのか調べてみよう。それに対する自分の意見もまとめよう。

沼津・高尾山古墳

国内最古級説も

市教委 調査報告書が完成

沼津市東熊堂の高尾山古墳の発掘調査を行っていた沼津市教委は10日、市議会文教消防委員会で古墳の調査報告書の完成を報告した。前方後方墳の同古墳は、西暦230年ごろに成立したとの説があり、市教委は「古墳時代成立の過程を解き明かす鍵になる極めて重要な古墳」としている。

沼津市教委が発掘調査を行った高尾山古墳（市教委提供）

同古墳は、市教委が2008年に発掘調査を開始し、09年には国内最古級の230年ごろに作られた高坏（たかつき）が見つかった。ただ、副葬品の鉄製の鏃（やじり）などがそこまで古くないため、同古墳が250年ごろにできたと唱える研究者もいる。

国内の代表的な前方後方墳は、卑弥呼の墓との説もある奈良県桜井市の箸墓古墳。成立年代は250年ごろとみられる。仮に高尾山古墳が230年ごろにできたとすると、東海地方でも独自に古墳文化が進行していたことになる。

市教委の担当者は「今後さらに研究が進められていくと思うが、決着には時間がかかりそう」と話している。市教委は近く、希望者に調査報告書を販売する予定。また、5月上旬から市文化財センター（同市大諏訪）で高尾山古墳の出土品を展示する。7月下旬には同古墳にまつわるシンポジウムを市民文化センターで開く予定。

高尾山古墳

土器など出土品並ぶ

沼津市明治史料館 復元模型も展示

沼津市明治史料館で1日、3世紀に築かれたとみられる同市東熊堂の「高尾山古墳」を中心に、同市周辺の古墳や出土品を紹介する企画展「スルガの古墳」が始まった。9月30日まで。

高尾山古墳は、国道1号と沼津インター線を結ぶ都市計画道路の建設に伴い、2008年、09年に発掘調査した前方後方墳。専門家の間では、大きく分けて日本最古級の230年ごろか、250年ごろに造られたとの見方があるという。出土した高坏（たかつき）、甕（かめ）などの土器類約50点や副葬品の直径13・5㌢の銅鏡、防腐効果がある鉱物「朱」の標本、全長62㍍の同古墳の縮尺20分の1の復元模型などの展示を通じて、古墳の概要や形状を分かりやすく説明している。

高尾山古墳から出土した土器類＝沼津市明治史料館

高尾山古墳の縮尺20分の1の復元模型

コピーを生徒に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

＊指導する先生や保護者の皆様へ

もし西暦230年代のものだとすれば「日本最古級」の古墳ということになります。卑弥呼が活躍していた時代に沼津市ではどのような文化が存在していたか、考えるきっかけになります。（年代については西暦230年代説と250年代説の2つがあるようです）

「沼津の宝」と一部で呼ばれているこの古墳は、都市計画道路建設の工事で発掘され、保存されるかどうか明らかになっていません。保存すべきか、道路建設を優先すべきか、生徒と考えてみましょう。